

柏崎市男女共同参画に関する調査報告書

《中学生意識調査》

令和6（2024）年12月

柏 崎 市

目 次

I	調査概要	1
II	調査結果	2
▶ 問 1	性別について	2
▶ 問 2	同居家族について	2
▶ 問 3	性別の「らしさ」について	3
▶ 問 4	具体的な性別の「らしさ」について（言われた内容）	4
▶ 問 5	具体的な性別の「らしさ」について（言われた相手）	5
▶ 問 6	具体的な性別の「らしさ」について（言われた気持ち）	6
▶ 問 7	家庭での手伝いの内容について	7
▶ 問 8	家事をするのにふさわしい人について	8
▶ 問 9	男女の役割について	9
▶ 問 10	男女の役割の理由について	10
▶ 問 11	男女のイメージについて	11
▶ 問 12	男女平等について	14
▶ 問 13	進学希望について	16
▶ 問 14	女性が職業を持つことについて	17
▶ 問 15	男女平等の考えについて	18

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）の改定に当たり、中学生の男女共同参画に関する意識や考え方、現状等を把握し、令和8(2026)年度を初年度とする次期計画を策定する際の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査内容

- ▶ 問 1 あなたの性別を教えてください（一つだけ）。
- ▶ 問 2 あなたは、今、誰と一緒に暮らしていますか（あてはまるもの全て）。
- ▶ 問 3 あなたは「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。
- ▶ 問 4 （問3で1または2を選んだ方のみ）どんなことと言われましたか（あてはまるもの全て）。
- ▶ 問 5 （問3で1または2を選んだ方のみ）それは誰に言われましたか（あてはまるもの全て）。
- ▶ 問 6 （問3で1または2を選んだ方のみ）言われた時、どんな気持ちになりましたか（一つだけ）。
- ▶ 問 7 あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか（あてはまるもの全て）。
- ▶ 問 8 あなたは、食事の準備（料理）や掃除、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番良いと思いますか（一つだけ）。
- ▶ 問 9 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか（一つだけ）。
- ▶ 問 10 （問9で1または2を選んだ方のみ）どうしてそう思いますか（一つだけ）。
- ▶ 問 11 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。1～5それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。
- ▶ 問 12 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の1～3それぞれの分野について、あなたの考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。
- ▶ 問 13 あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思いますか（一つだけ）。
- ▶ 問 14 あなたは、女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください（一つだけ）。
- ▶ 問 15 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。1～3それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください（それぞれ一つずつ）。

3 調査の設計

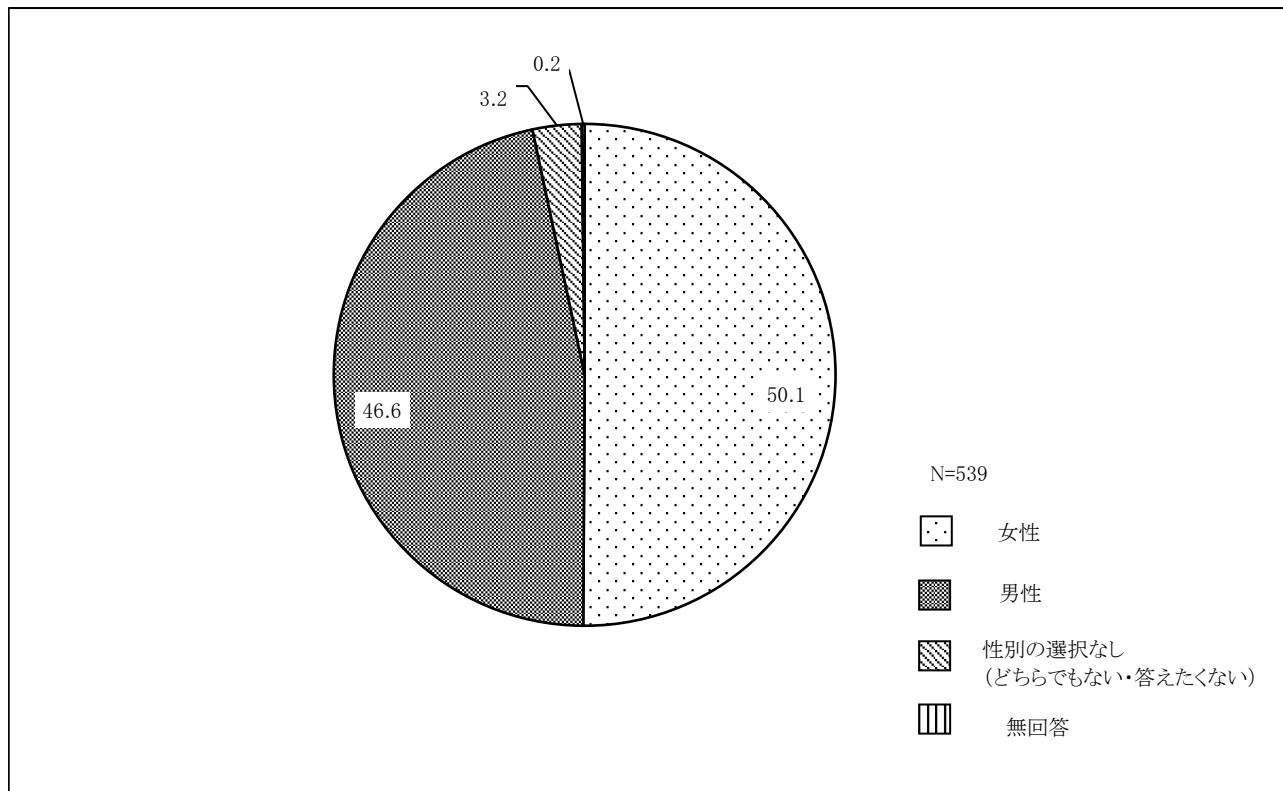
- ❖ 調査対象 : 柏崎市立中学校及び新潟県立柏崎翔洋中等教育学校の3年生
- ❖ 調査方法 : 各学校を通してオンラインで実施（回答は無記名）
- ❖ 調査期間 : 令和6(2024)年8月29日～9月20日

4 回収結果

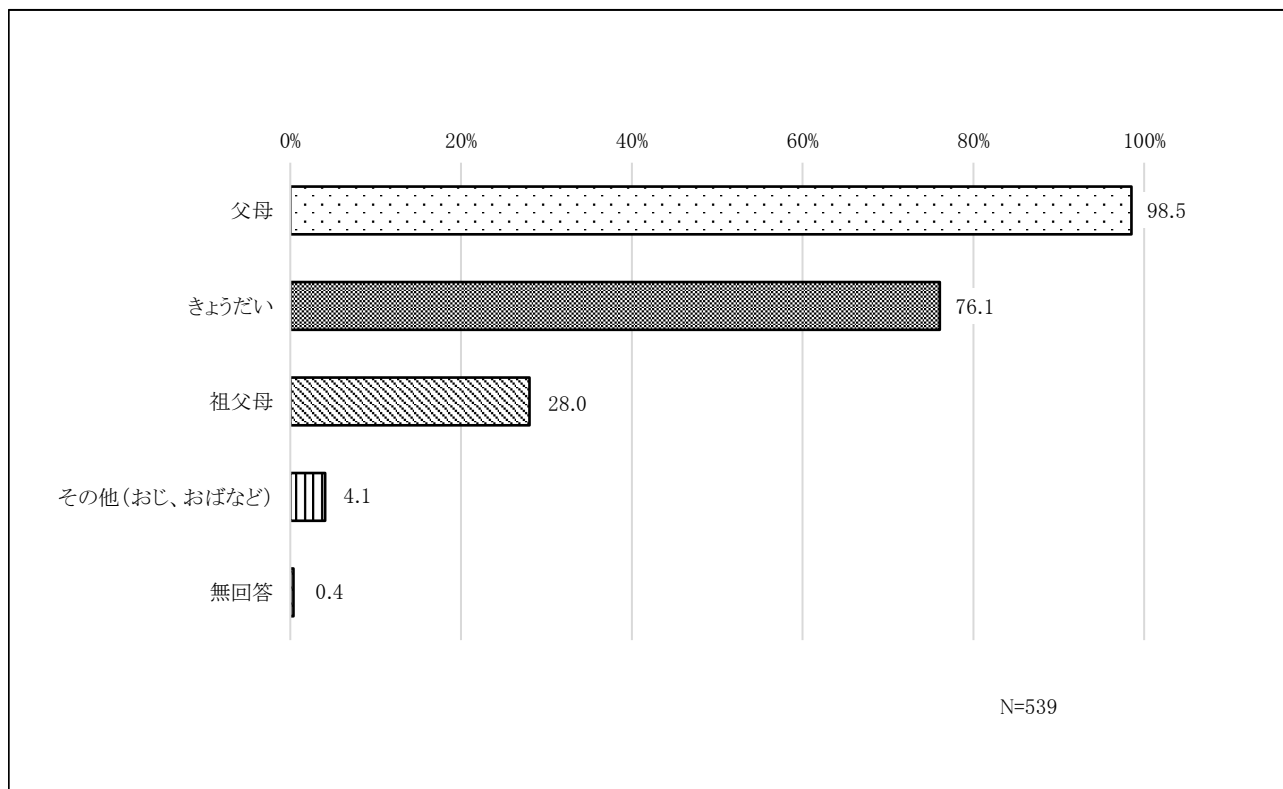
- ❖ 配布数 : 572人
- ❖ 有効回収数 : 539人
(女性270人、男性251人、どちらでもない6人、答えたくない11人、無回答1人)
- ❖ 回収率 : 94.2%
- ❖ 百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。
したがって、回答率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ❖ 複数回答(2つ以上選んでよい問)については、回答率の合計が100%を超える場合があります。
- ❖ 図表中に示すN、nは、回答率算出上の基数(標本数)です。標本全数を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- ❖ 前回比較とは、平成26(2014年)、令和元(2019年)に同様の調査を行ったものと比較したものです。

Ⅱ 調査結果

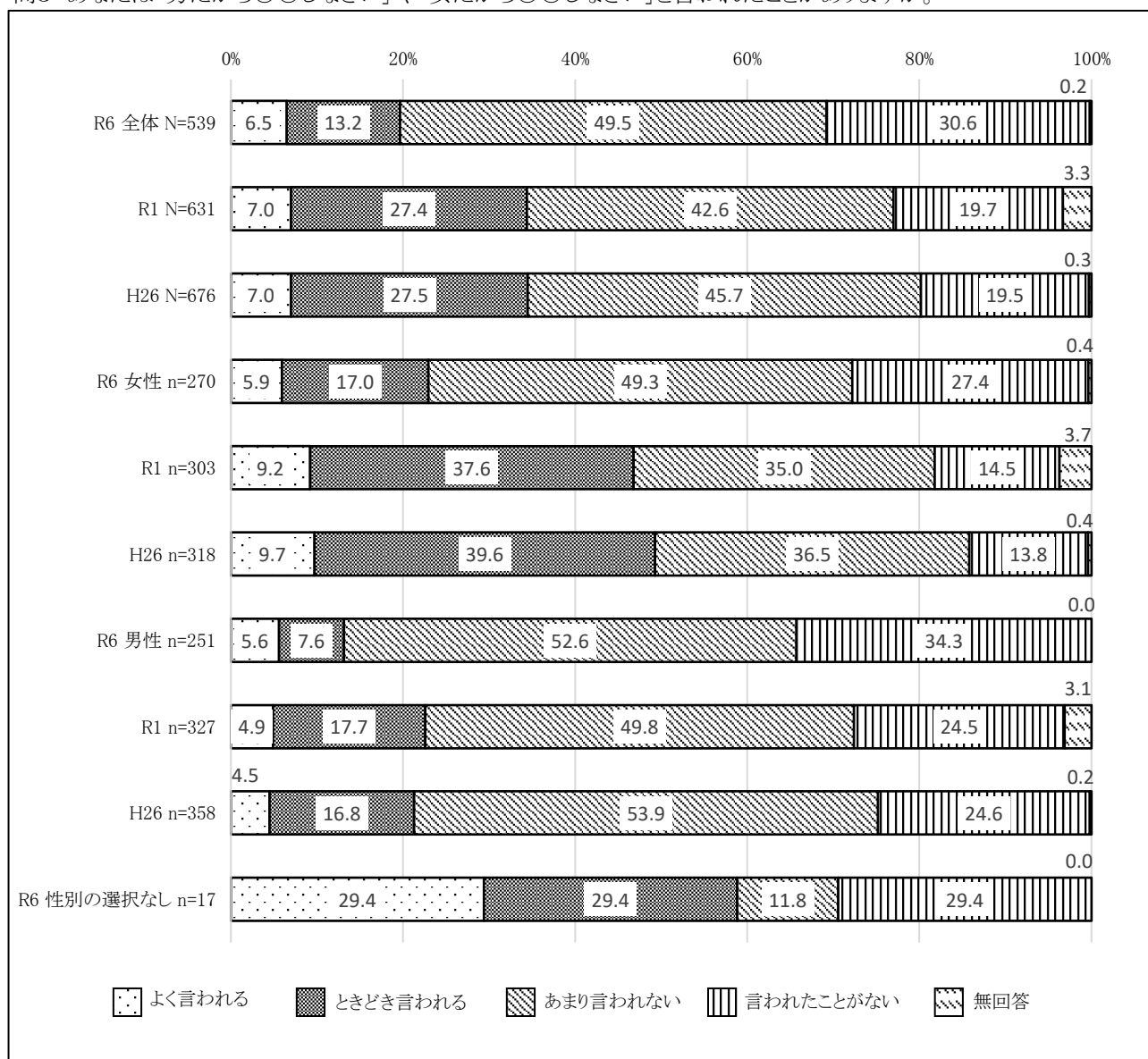
問1 あなたの性別を教えてください(一つだけ)。



問2 あなたは、今、誰と一緒に暮らしていますか(あてはまるもの全て)。



問3 あなたは「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。



【全体】

性別役割分担意識に対する言動について、『言われる』（「よく言われる」＋「ときどき言われる」）が19.7%、『言われたい』（「あまり言われたい」＋「言われたことがない」）が80.1%となっている。

【性別】

女性は『言われる』が22.9%に対して、『言われたい』は76.7%となっている。一方、男性は『言われる』が13.2%に対して『言われたい』は86.9%となっている。

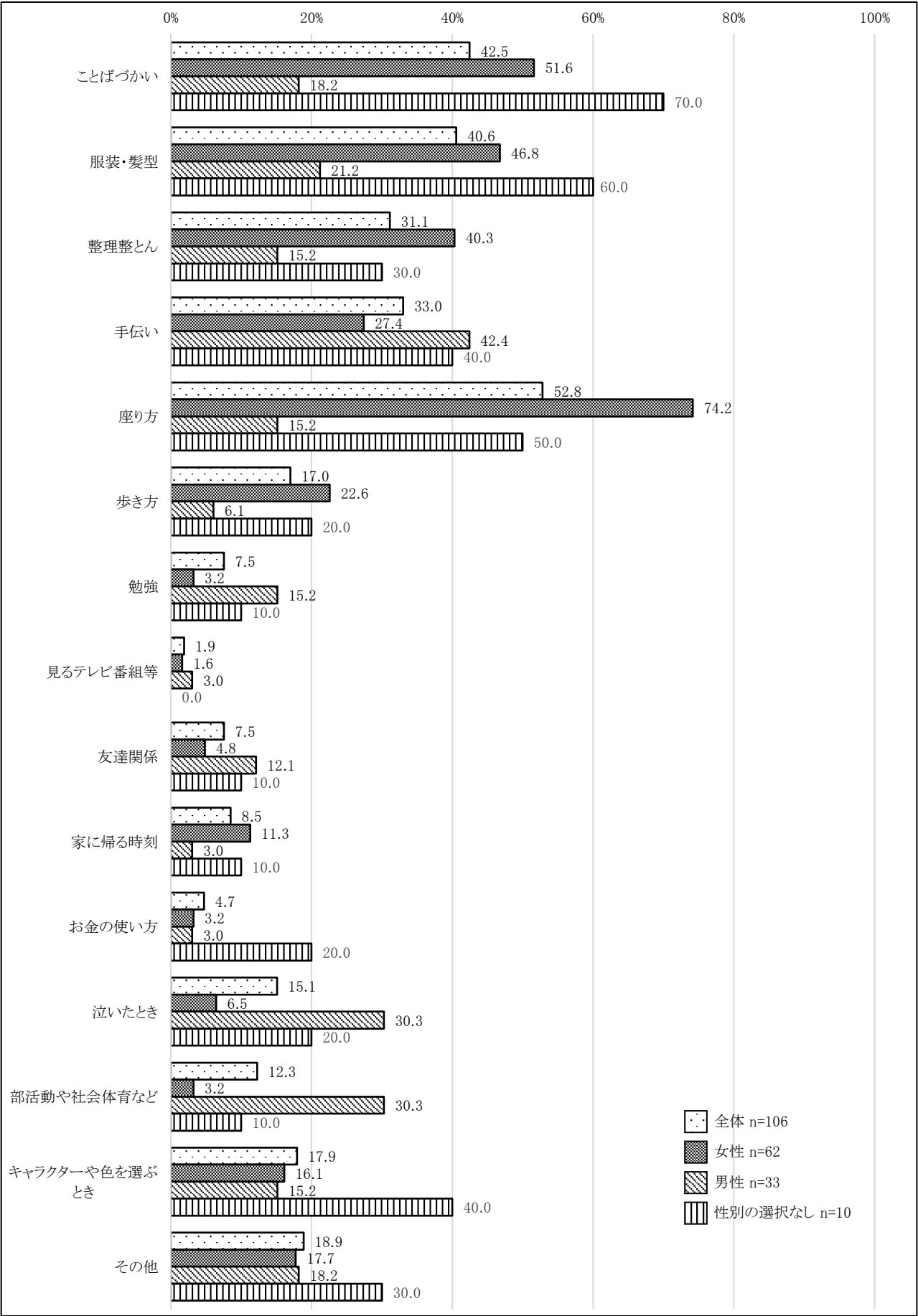
『言われる』は女性が約10ポイント高くなり、『言われたい』は逆に男性が10ポイント高くなっている。

【経年比較】

『言われたい』（「あまり言われたい」＋「言われたことがない」）の割合が大きくなっている。（R1＝62.3%、R6＝80.1%）

問4（問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」を選んだ方のみ）

どんなことで言われましたか(あてはまるもの全て)。



【全体】

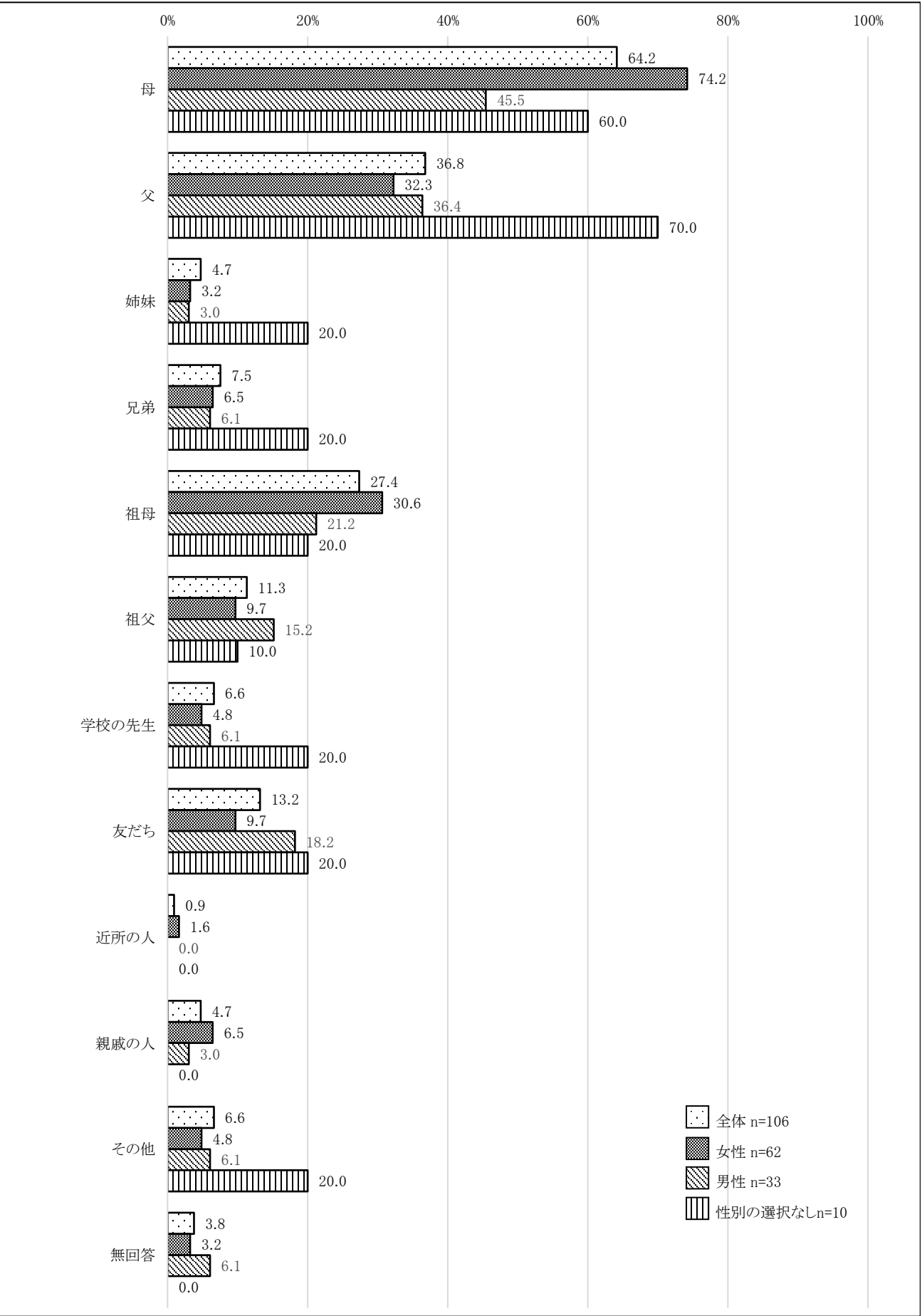
性別にふさわしい言動の内容は、「座り方」が最も多く52.8%、次いで「ことばづかい」が42.8%、「服装・髪型」が40.6%となっている。

【性別】

女性は「座り方」が最も多く74.2%、次いで「ことばづかい」が51.6%、「服装・髪型」が46.8%となっている。一方、男性は「手伝い」が最も多く42.4%、次いで「泣いたとき」が30.3%となっている。「座り方」「ことばづかい」「服装・髪型」「整理整頓」「歩き方」は女性の方が男性より10ポイント以上高くなっている。また、「部活動や社会体育など」「泣いたとき」「手伝い」「勉強」は男性の方が女性よりも高くなっており、性別にふさわしい言動には一定の傾向が見受けられる。

問5（問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」を選んだ方のみ）

それは誰に言われましたか(あてはまるもの全て)。



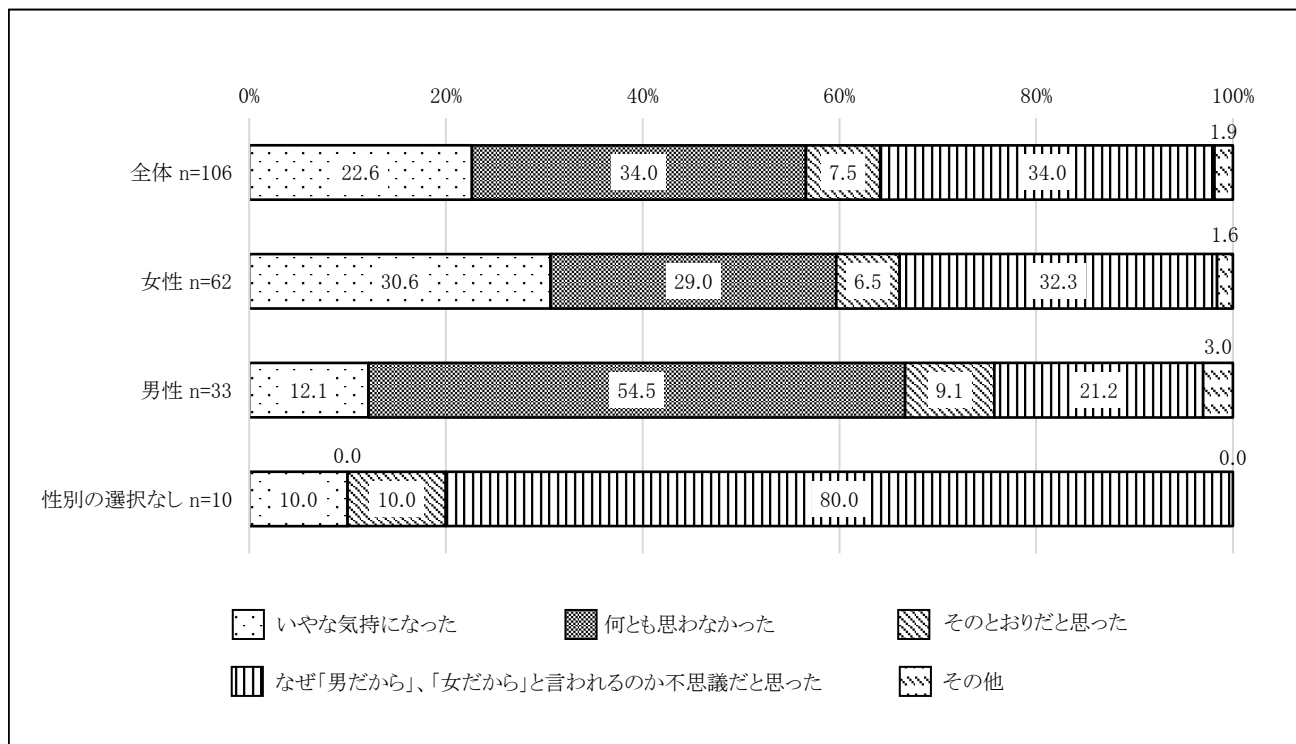
【全体】

性別にふさわしい言動の要求者（伝達者）については、男女ともに「母」が最も多く女性74.2%、男性45.5%であり、次いで「父」が女性32.3%、男性36.4%となっている。

（女性270人、男性251人、どち

問6（問3で「よく言われる」または「ときどき言われる」を選んだ方のみ）

言われた時、どんな気持ちになりましたか（一つだけ）。



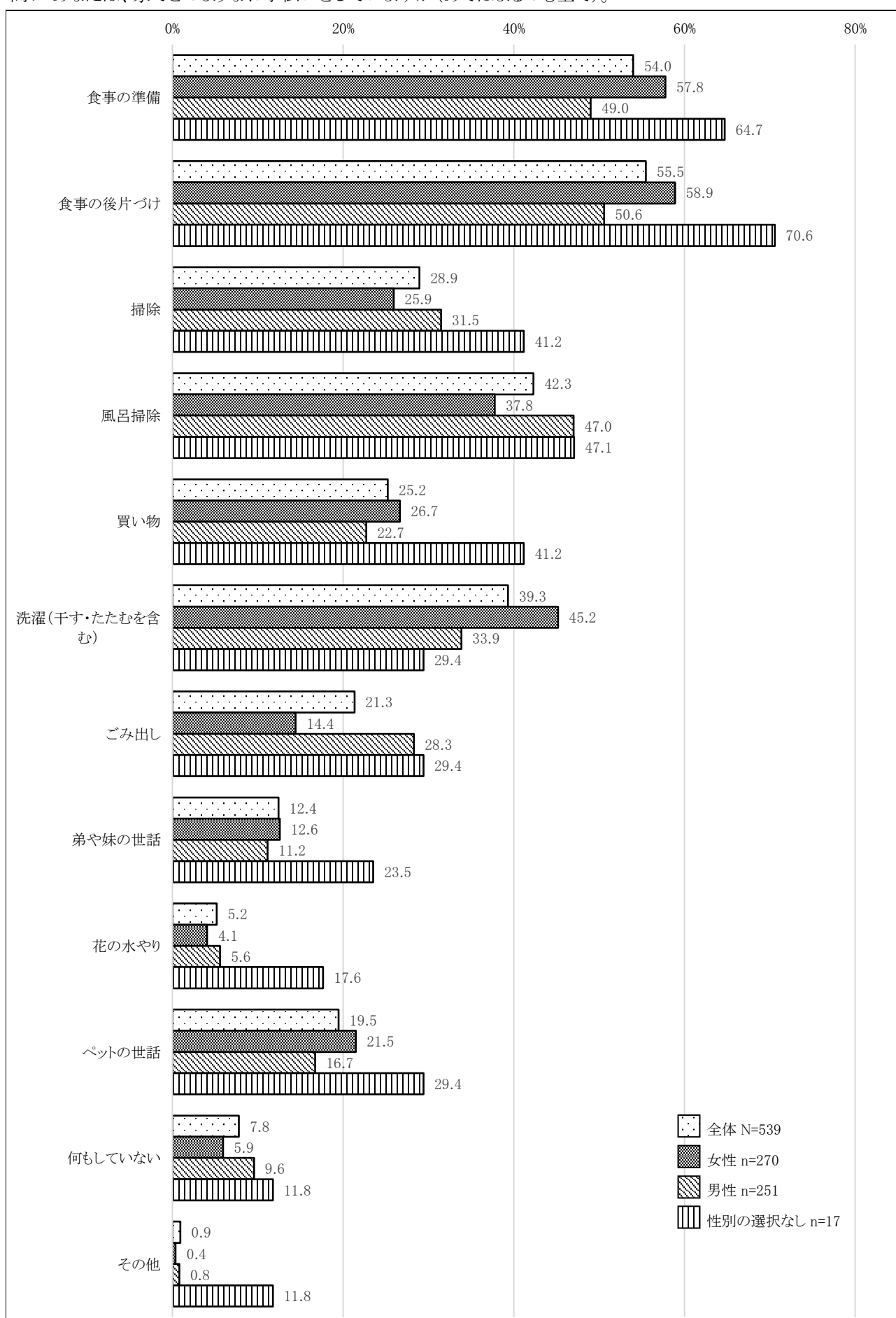
【全体】

性別にふさわしい言動の要求による影響については、「何とも思わなかった」と「なぜ『男だから』、『女だから』と言われるのか不思議だと思った」が最も多く34.0%、次いで「いやな気持ちになった」が22.6%であった。

【性別】

女性は「なぜ『男だから』、『女だから』と言われるのか不思議だと思った」が最も多く32.3%、次いで「いやな気持ちになった」が30.6%となっている。一方、男性は「何とも思わなかった」が最も多く54.5%、次いで「なぜ『男だから』、『女だから』と言われるのか不思議だと思った」が21.2%となっている。

問7 あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか(あてはまるのも全て)。

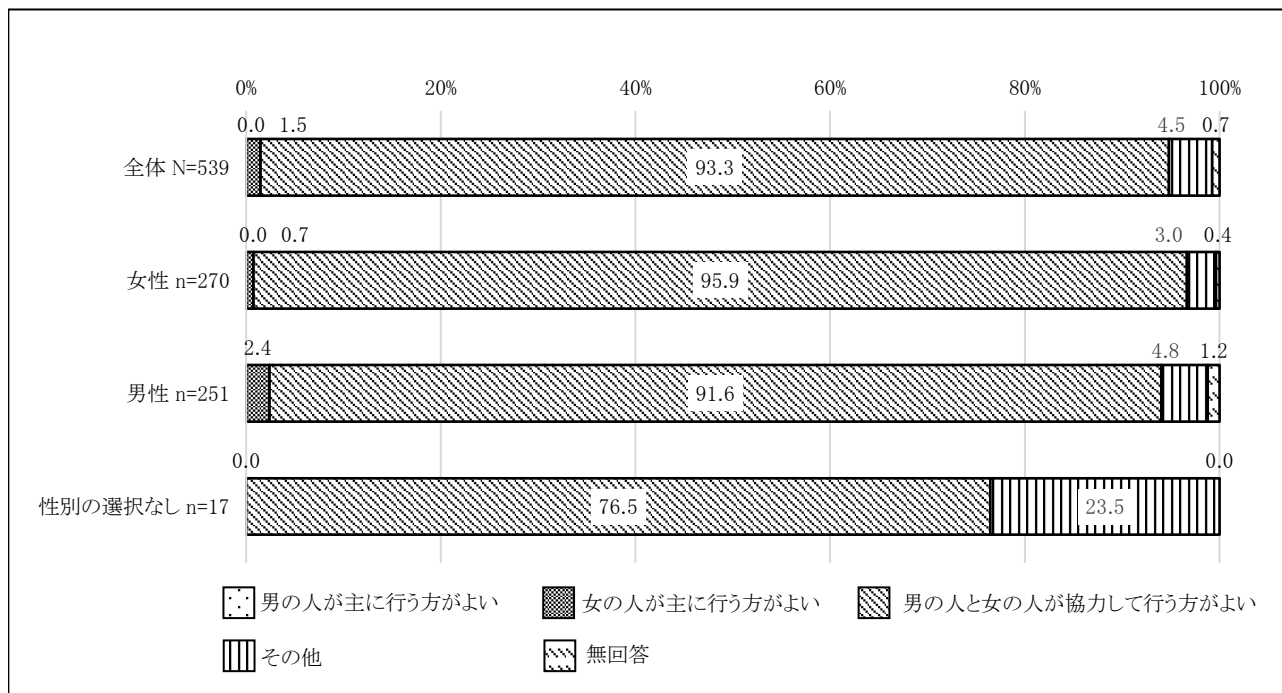


【全体】

家庭でのお手伝いについては、男女ともに「食事の後片づけ」が最も多く、女性58.9%、男性50.6%、次いで「食事の準備」が女性57.8%、男性49.0%となっている。

「食事の後片づけ」「食事の準備」「洗濯」は女性の方が男性よりポイントが高くなっている。一方で、「ごみ出し」「風呂掃除」「掃除」は男性の方が女性よりポイントが高くなっている。

問8 あなたは食事の準備(料理)や掃除、洗濯のような家事は、誰がやるのが一番良いと思いますか
(一つだけ)。



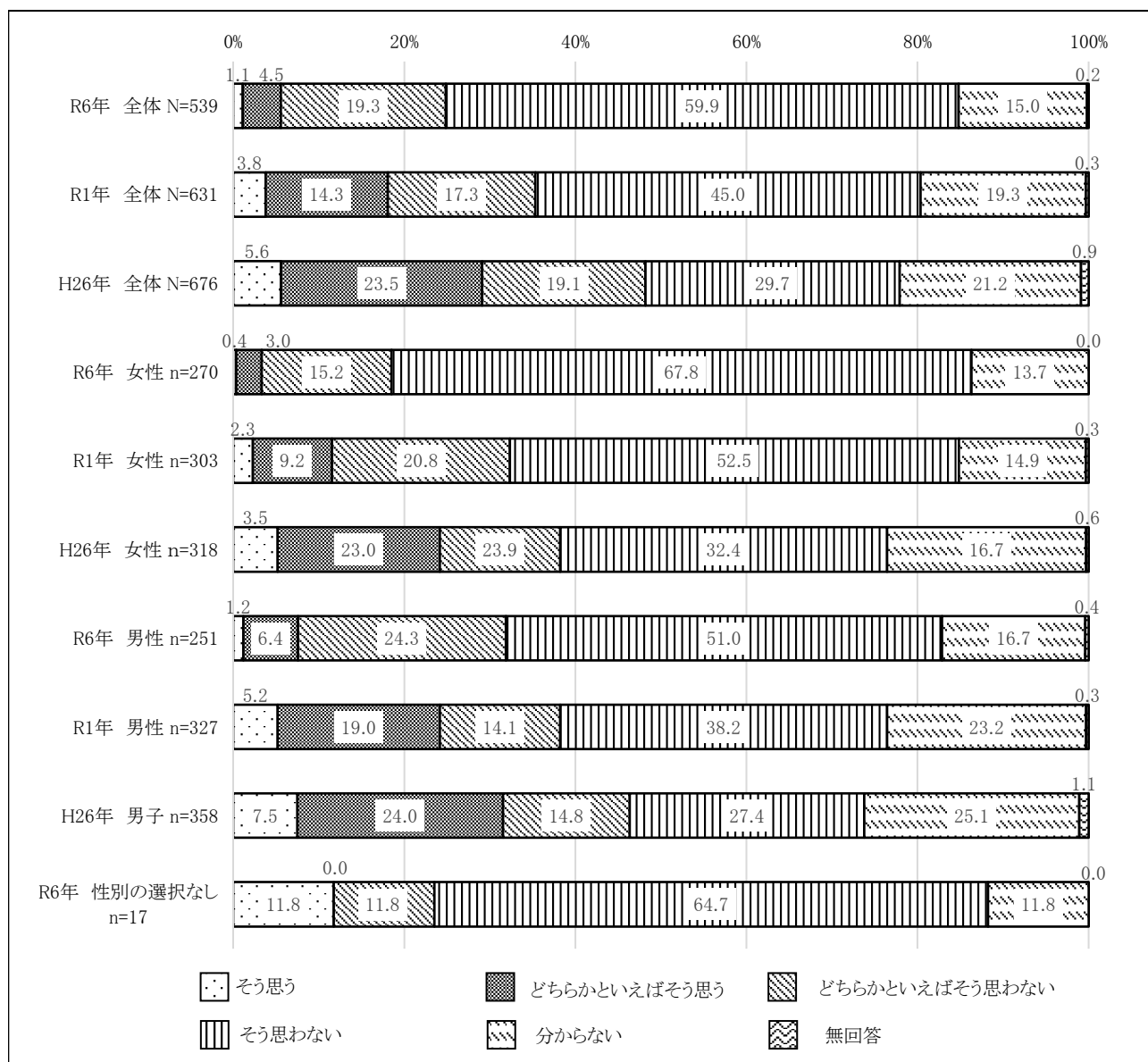
【全体】

家庭での役割分担についてみると、全体では「男の人と女の人が協力して行う方がよい」が9割以上を占めている。

【性別】

「男の人と女の人が協力して行う方がよい」は女性95.9%に対して男性91.6%となっており、女性の方が高くなっている。

問9 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか(一つだけ)。



【全体】

「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、「そう思わない」(59.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(19.3%)を合わせた『そう思わない』が79.2%、「そう思う」(1.1%)と「どちらかといえばそう思う」(4.5%)を合わせた『そう思う』が5.6%となっている。

【性別】

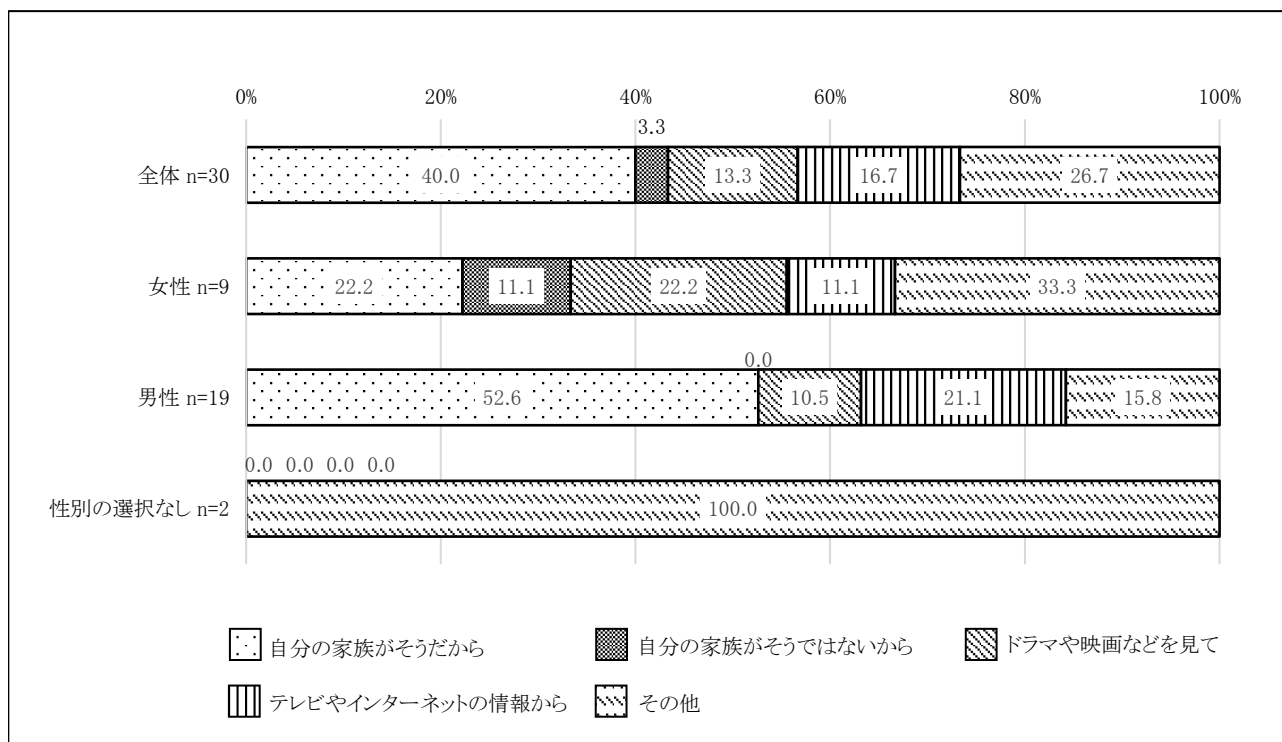
『そう思わない』は女性が83.0%、男性が75.3%となっており、男女での差がみられる。

【経年比較】

H26年からR1年で大幅に増加した『そう思わない』が今回の調査でさらにポイントを伸ばしている。特に男性はR1年とR6年の比較で20ポイント以上高くなっている。

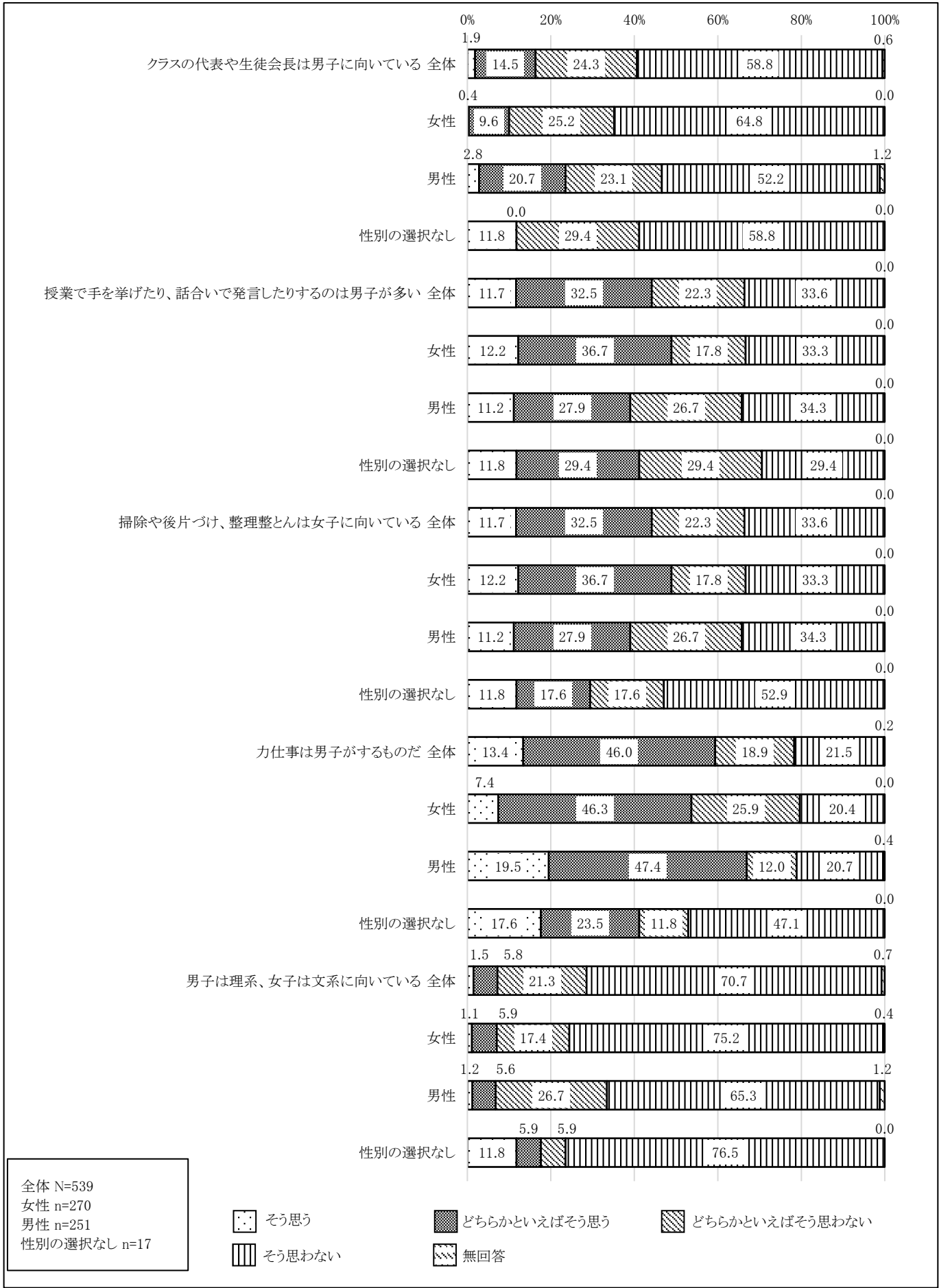
問10（問9で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選んだ方のみ）

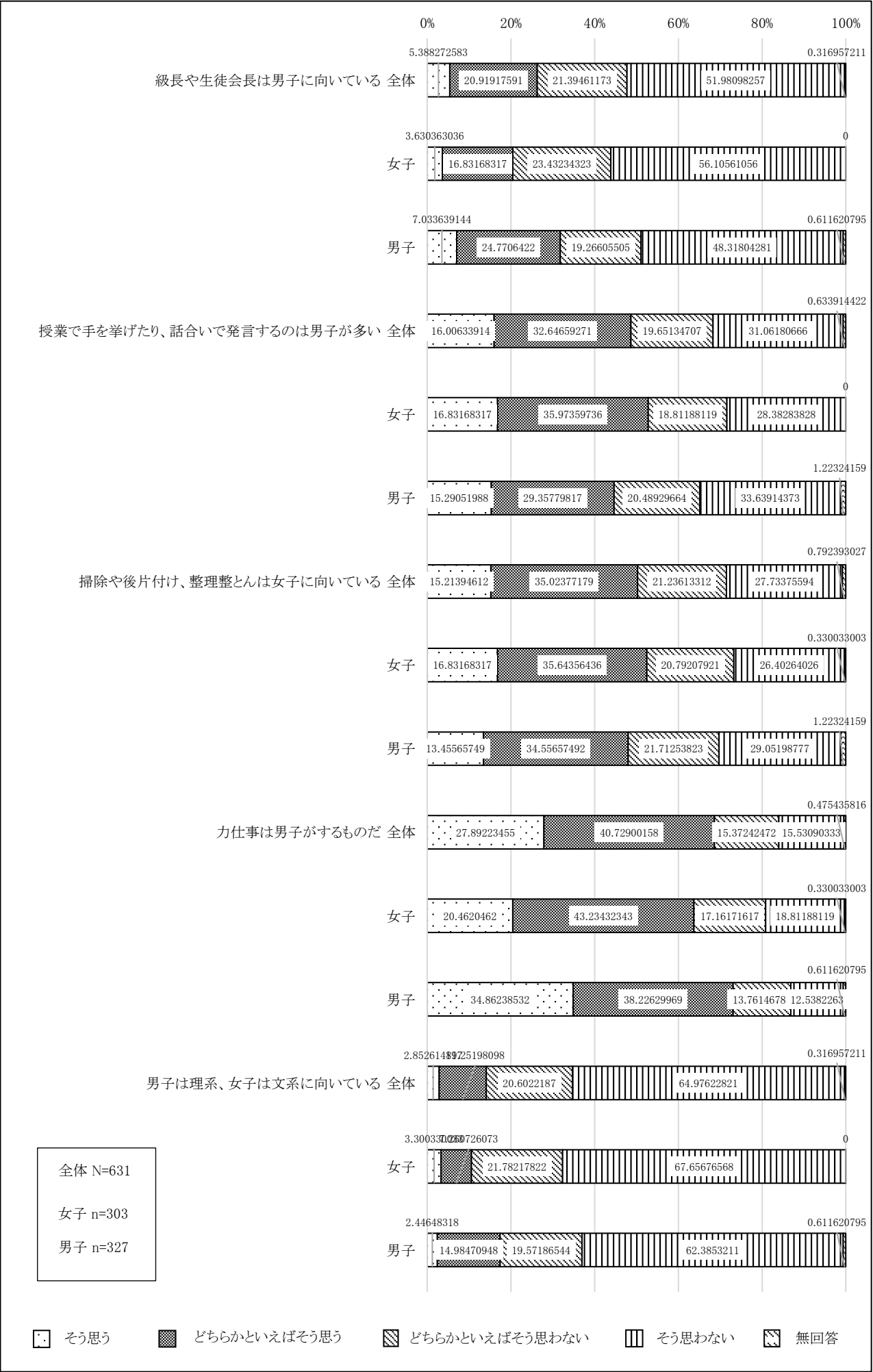
どうしてそう思いますか(一つだけ)。



「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」の理由を性別にみると、女性は「自分の家族がそうだから」と「ドラマや映画などを見て」が同率で最も多く22.2%、男性は「自分の家族がそうだから」が半数を超える52.6%となっている。

問11 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください(それぞれ一つずつ)。





◆「クラスの代表や生徒会長は男子に向いている」

全体では「そう思わない」(58.8%)と「どちらかといえばそう思わない」(24.3%)を合わせた『そう思わない』が83.1%となっている。

性別にみると、『そう思わない』が女性90.0%、男性75.3%となっており、女性の方が男性より約15ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加している。

◆「授業で手を挙げたり、話し合いで発言したりするのは男子が多い」

全体では『そう思わない』が55.9%となっている。

性別にみると、女性は『そう思わない』(51.1%)に対して『そう思う』(48.9%)となっている。一方、男性は『そう思わない』(61.0%)に対して『そう思う』(39.1%)となっている。

前回調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加している。

◆「掃除や後片付け、整理整頓は女子に向いている」

全体では『そう思わない』が55.9%となっている。

性別にみると『そう思わない』が女性51.1%、男性61.0%となっており、男性が女性を上回っている。

前回調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加している。

◆「力仕事は男子がするものだ」

全体では『そう思う』が59.4%となっている。

性別にみると『そう思う』が女性53.7%、男性66.9%となっており、男性が女性を上回っている。

前回調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加しているが、この項目だけは変わらずに『そう思う』の割合の方が多い。

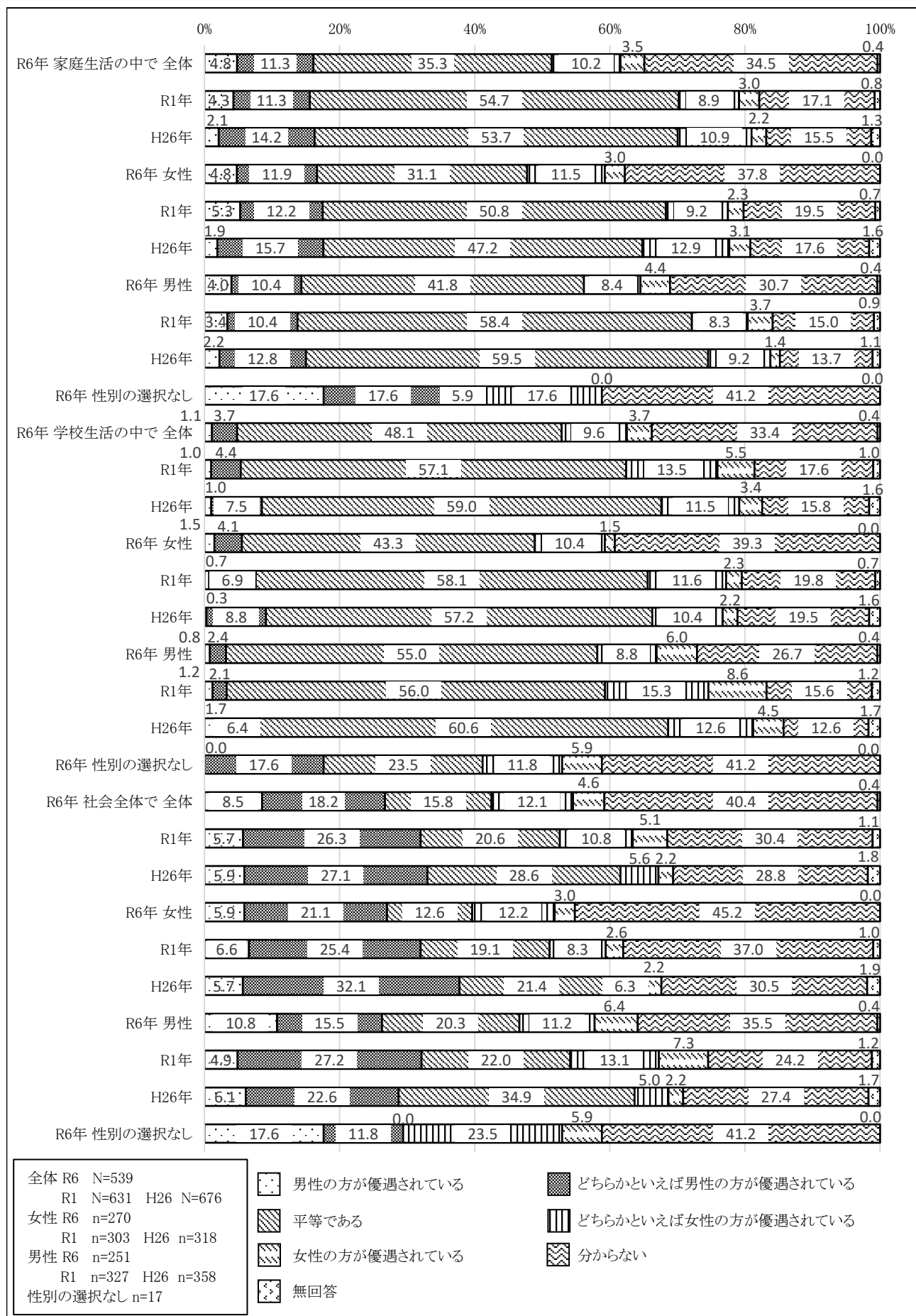
◆「男子は理系、女子は文系に向いている」

全体では『そう思わない』が92.0%となっている。

性別にみると『そう思わない』が女性92.6%、男性92.0%となっており、男女ともに9割を超えている。

前回調査と比較すると、『そう思わない』の割合が増加している。

問12 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。それぞれの分野について、あなたの考えに最も近いものを選んでください(それぞれ一つずつ)。



◆家庭生活の中での男女の地位の平等感

全体では「平等」が35.3%となっている。

性別にみると、「平等」は女性31.1%、男性は41.8%となっており、男性が女性を上回っている。前回調査と比較すると、全てのグループで『平等と思う』が減少している。

◆学校生活の中での男女の地位の平等感

全体では「平等」が48.1%となっている。

性別にみると、「平等」は女性43.3%、男性は55.5%となっており、男性が女性を上回っている。

前回調査と比較すると、全てのグループで『平等と思う』が減少しているが、特に女性の減少割合が大きい。

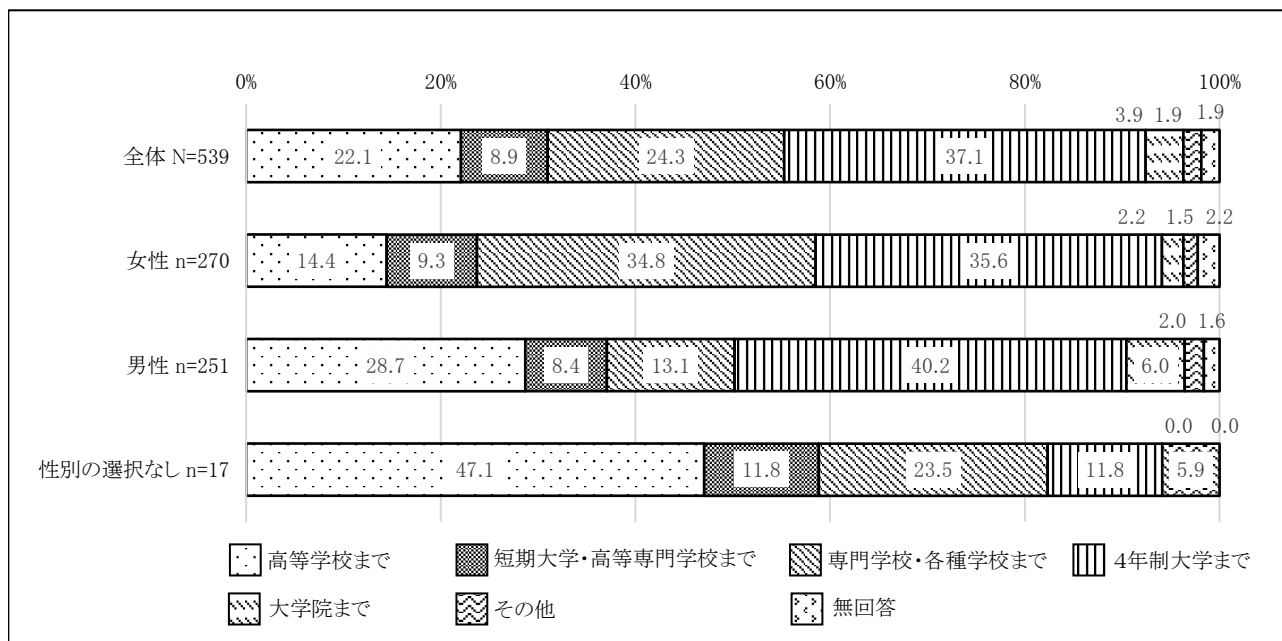
◆社会全体の男女の地位の平等感

全体では『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が26.7%、「平等」が15.8%となっている。

性別にみると「平等」は女性12.6%、男性は20.3%となっており、男性が女性を上回っている。

前回調査と比較すると、全てのグループで『平等と思う』が減少している。

問13 あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思いますか(一つだけ)。



【全体】

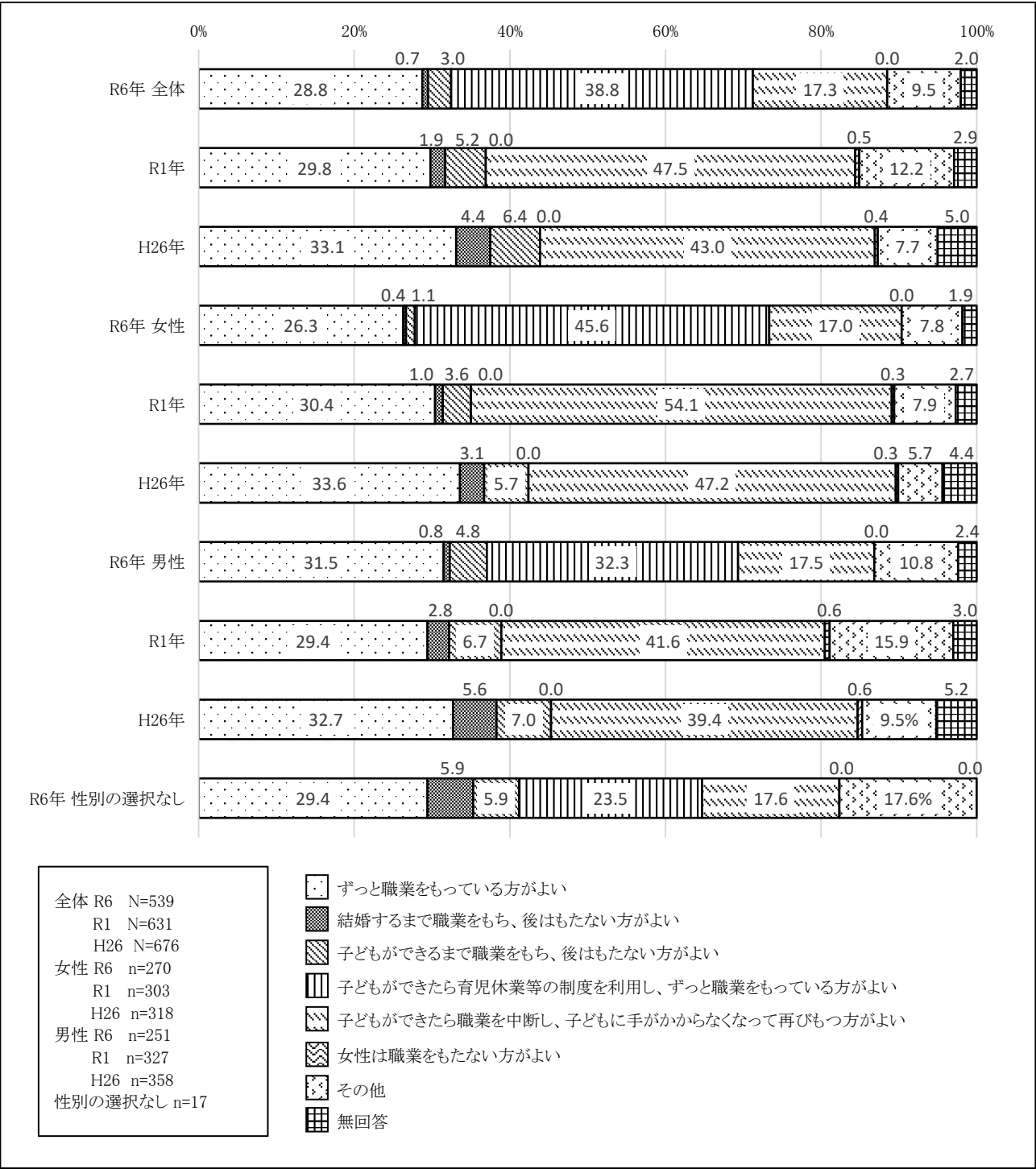
将来の進学希望についてみると、全体では「4年制大学まで」（37.1%）が最も多く、次いで「専門学校・各種学校まで」（24.3%）となっている。

【性別】

女性は「4年制大学まで」（35.6%）が最も多く、次いで「専門学校・各種学校まで」（34.8%）となっている。

一方、男性は「4年制大学まで」（40.2%）が最も多くなっており、次いで「高等学校まで」（28.7%）となっており、女性の方が高等学校卒業後の進学について希望が高くなっている。

問14 あなたは、女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください(一つだけ)。

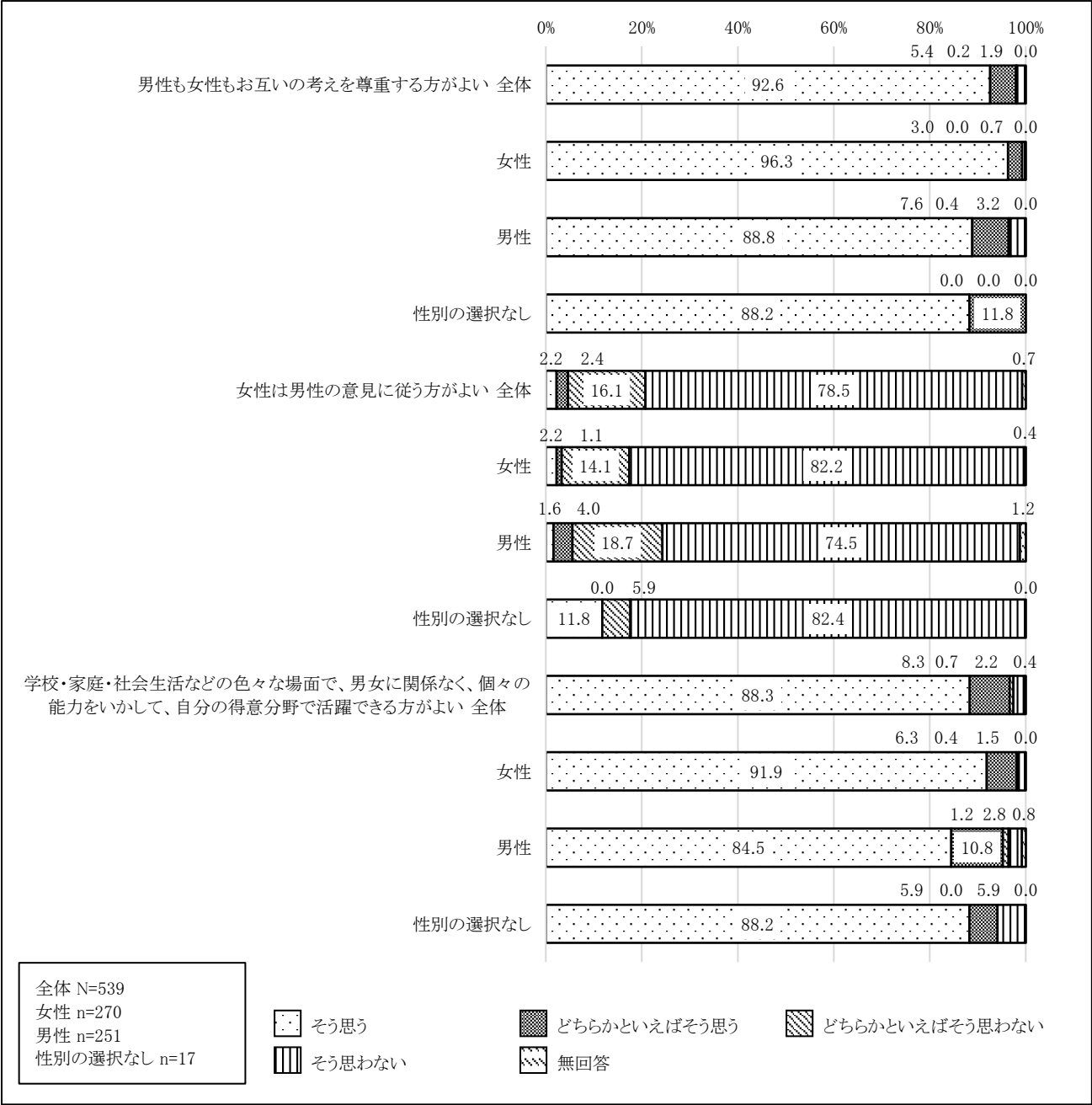


【全体】
「子どもができれば育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」（38.8%）が最も多く、次いで「ずっと職業をもっている方がよい」（28.8%）となっている。

【性別】
「子どもができれば育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」が女性45.6%、男性32.3%と、女性が男性を上回っている。

【経年比較】
前回調査では「子どもができれば職業を中断し、子どもに手がからなくなって再びもつ方がよい」が最も多かったが、今回調査では新設した回答である「子どもができれば育児休業等の制度を利用し、ずっと職業をもっている方がよい」が最も多くなった。

問15 あなたは、次のような考えについてどう思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください(それぞれ一つずつ)。



◆「男性も女性もお互いの考えを尊重する方がよい」
全体では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が98.0%と高い割合になっている。
性別にみると、『そう思う』が女性99.3%、男性96.4%と、女性の方が男性よりやや上回っている。

◆「女性 は 男性 の 意見 に 従 う 方 が よ い」
全体では『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）が94.6%と高い割合になっている。
性別にみると、女性は『そう思わない』が96.3%と高い割合になっている。一方、男性は『そう思わない』が93.2%となっているが、『そう思う』が5.6%となっており、女性の3.3%を上回っている。

◆「学校・家庭・社会生活などの色々な場面で、男女に関係なく、個々の能力をいかして、自分の得意分野で活躍できる方がよい」
全体では『そう思う』が96.6%と高い割合になっている。
性別にみると、『そう思う』が女性98.2%に対して男性95.3%と、女性の方が男性よりやや上回っている。